

TEEC日本劇場技術者連盟

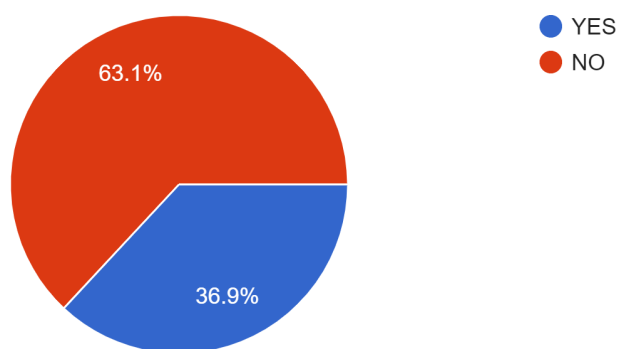
舞台業界における新型コロナウイルス感染症による影響調査。

回答数 合計342名（会員74名集計は別紙）本集計会員外268名が対象

アンケート実施期間：2020年4月17日～4月26日

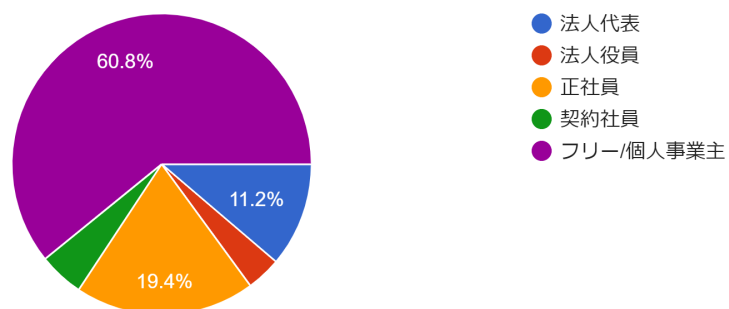
業界団体に所属していますか

268 件の回答



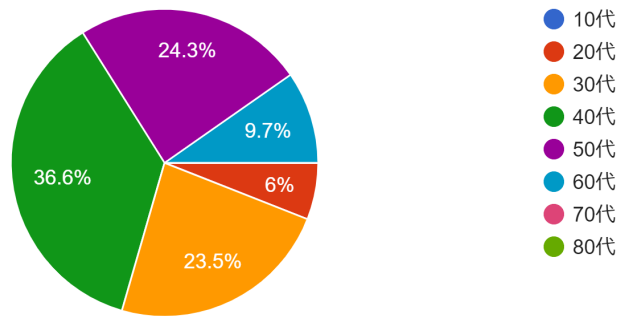
以下について教えてください

268 件の回答



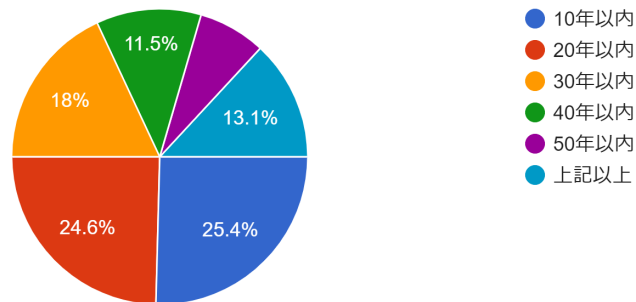
年齢（個人の方）

268 件の回答



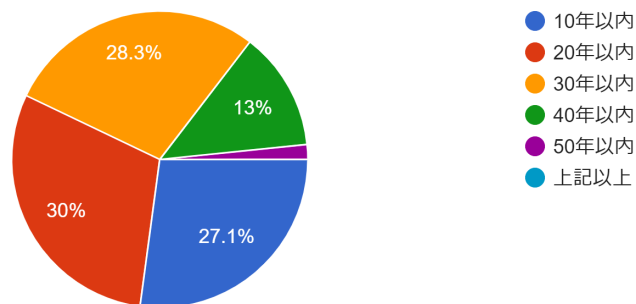
設立からの期間（※法人の方）

122 件の回答



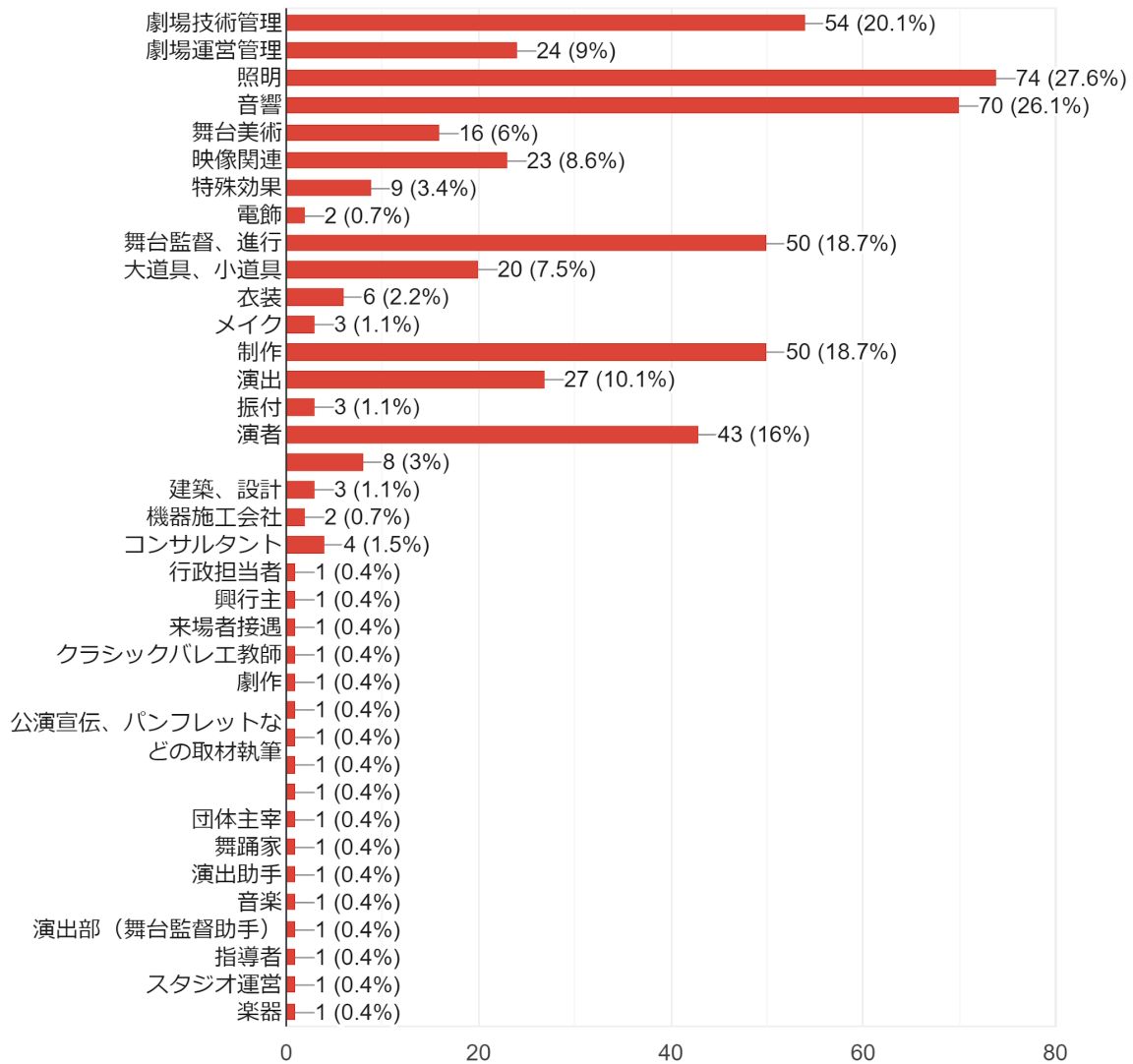
従事してからの期間（※個人事業主の方・回答者ご自身）

247 件の回答



業務領域（法人の方は複数回答可。個人の方は専門分野をチェックしてください。）

268 件の回答



◎その他の職種

拠点責任者

劇作

カメラマン(稽古場・ゲネ・ブロマイド)

演劇ライター

ライター／批評／広報（制作）※調査結果公開の際は「ライター」のみでお願いします

劇団主宰

インド舞踊家

演出助手

その他 音楽

演出部（舞台監督助手）

西洋舞踊家 講師

スタジオ運営・レンタル

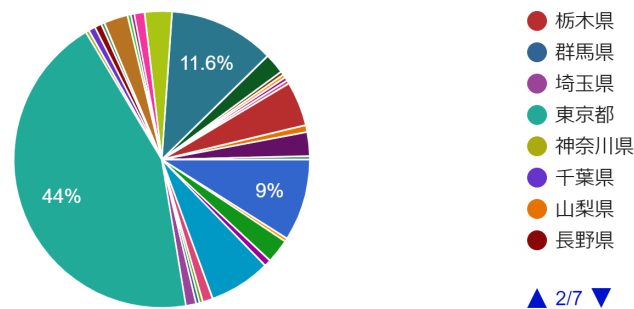
カメラマン

楽器、ローディ

撮影・カメラマン

業務の中心的地域を教えてください

268 件の回答



◎その他の地域

台湾、オーストラリア

アメリカ

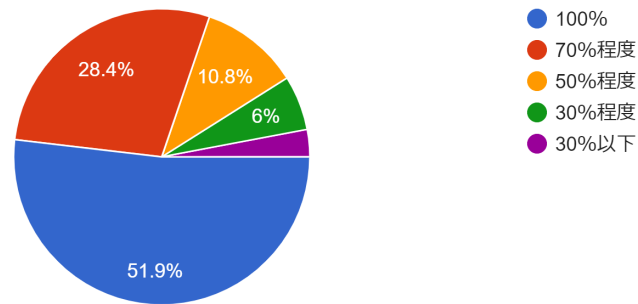
インド

ドイツ、オーストリアの取引先

札幌市

東北全県

あなたの仕事において、劇場・ホール・舞台関連での業務が占める割合を教えてください。
268 件の回答



イベント業務

イベント

野外イベント

稽古場

教育

音源制作、講師

事業運営 施設管理

テーマパーク装飾、展示

イベント、レコーディング

イベント業務、専門学校外部講師

イベント、展示会など

スポーツ音響

撮影、イベント

オフィスワーク

レストランでの演奏

コンサート

イベント、学校など

外現場、テレビラジオ

映像、イベント業務

投資、不動産賃借

イベントに抜けての振付、リハーサル、教え

美術作品制作展示

イベント業務、

チラシ折込代行業務

舞台美術の製作工場にて勤務、大学非常勤講師

イベント、講師など

企業・団体の映像制作

ライター、地域コーディネーターなど

テレビ事業

映画・ドラマなど

講師業

ブライダル

イベント・展示会業務

イベント進行

イベントカメラマン、ドラマ映画出演等

放送技術

演技教室など

一般の方相手のヘアメイクと広告系です。

学校の非常勤と個人レッスン

レコーディング

イベント、映像

プロダクション、印刷関係

舞台機構保守

バレエ指導

他業界（大学勤務、企業採用など）

映像

放送局スタジオ

舞踊クラス指導、イベント制作

映画館アルバイト

イベント等へのアトラクション出演

3割もないですが野外でのイベント、音楽フェスなど

諸々イベント業務、機材の販売代理店業務

イベント。ホテル。

イベント ミュージックビデオ 番組収録

作曲、アレンジ

WEB更新

指導・作曲・物販

屋外イベントなど

イベント、お祭りなど

仮設イベント

バンケットホールでのオペレーション請負いなど

仮設現場、野外・イベント等

スタジオ運営・レンタル楽器

プロダクション業務

劇場、ホール、舞台以外でのイベント、ライブの音響業務

野外フェス、イベント、学校など

イベント・ライブ会場造作等

野外イベント等

野外、アリーナコンサート・イベント

外現場です

イベントやスポーツ中継収録

CMやプロモーションビデオなどの制作や演出

音楽・演劇関連宣伝映像・写真撮影

野外イベント、その他イベント

イベント、コンサート、テレビ

舞台美術の構築、演出内容等、事務作業

イベント、コンサート等

音源制作

イベント、コンサート業務

ライブハウス、イベント、展示会、イルミネーションのライトアップ等

イベント、ブライダル等

ホテルの宴会場

番組制作

映像制作、イベント業務全般、ウェブサイト制作、システムコンサルティング等

展示会など

お祭り、店舗イベント、屋外イベントなど

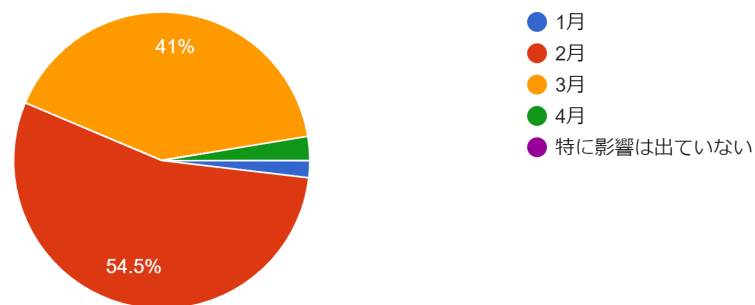
マネジメント業務

外部イベント企画制作

スタジオ・専門学校での演技の授業、児童館でWS

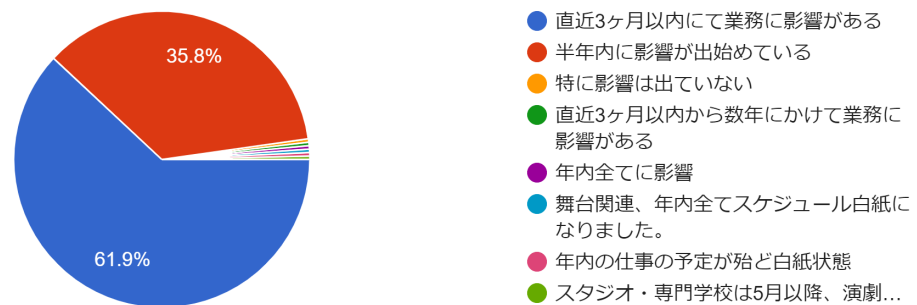
新型コロナウイルスの影響が、いつごろから出始めましたか

268 件の回答



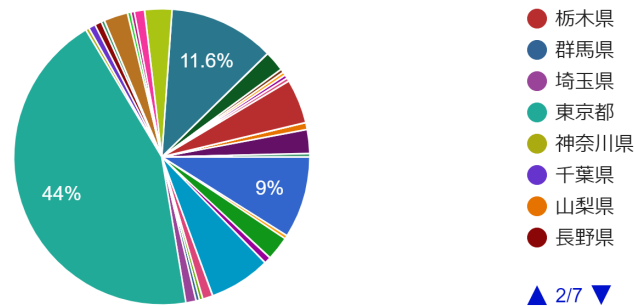
現時点での今後の影響について

268 件の回答



業務の中心的地域を教えてください

268 件の回答



これまでの影響、今後の影響について具体的にご記入ください

公演中止

今仕事は在宅勤務がほとんどで、月2〜3回位劇場での仕事ですが、公演は全く無い。

ツアーも含む約1ヶ月の公演中止、それに伴う1ヶ月強の期間の稽古中止

劇場催事の中止

催しが全てキャンセルになり、無収入になった。

現場の中止

三月から、今現在7月までの現場は全て無くなりました。

3月、4月の劇場公演が中止になった。今後も状況によっては中止になると思うが先方からはギリギリまで連絡が来ないのでその判断がこちらに影響してしまう。

6月後半までホールの利用がない

催事のキャンセルに伴う売上減

4月に入った時点で、8月までのイベント業務全て無くなった

現場が無い

2月末に舞台1本中止。4月2本、5月〜6月上旬1本中止。

7月まで全く仕事無し。7月からもどうなるか先行きは未定。

催事のキャンセル

案件キャンセル、順延が続く近々のキャッシュフローが困難

従業員の給与を確保するのに助成金を利用しているが、経費や家賃、固定費の確保は出来ておらず内部留保が減り続ける事への不安

国内外の公演が多数中止となり、いつ仕事再開出来るのか分かりません。

千秋楽の中止(当日)

受注済みの現場がキャンセル。(4、5月の収入が0円に)

最も遅いもので、11月のキャンセルが決まっており、5、6月は8割がキャンセルとなっている。

今月までは休業補償が決まっていますが、いつまで支払ってもらえるのかが定かではなく、不安な日々を過ごしています。

開催を延期・中止した催事も本来の期間に合わせて宣伝活動を行なっていたが、現時点での開催目処が立たず、これまでの活動費や運営費がかなり主催者を圧迫している。

今回の開催中止や予算の縮小、最悪の場合団体そのものの倒産の危険があり、業務を受託する私の収入も減少する恐れがある。

ほぼ全ての現場がキャンセル、3月4月は売り上げゼロ

2ヶ月から3ヶ月無収入

3月中旬以降の受注はほぼ100%に近くキャンセルとなりました。

オリンピックが延期になった事も今後どう影響するか。

全てキャンセル

3月公演が中止

4月～6月の仕事が全てキャンセル

仕事の9割がなくなりました

全く現場が無い

本業がない時アルバイトなどすることがありますが、本業に支障があるかもと懸念し、自粛したので、収入はなし。

公演中止、リハーサル自体も開始できず

2月末から2ヶ月以上、全ての本番が中止又は延期になっている。この先、何時になったら本番が出来るか分からない状態。

公演の中止。延期の場合でも、延期予定の日程が他でうまっており受けられない。

公演の延期

2月 3日間キャンセル

3月 受注約2/3キャンセル 収入1/3

4月 全日程キャンセル 収入0

5月 受注約3/2キャンセル 収入1/4

自粛要請による公演中止の影響により、1,000万以上の赤字。長引くほど被害額は増えていく。

トレーニング リハーサルが出来ない。

舞台がキャンセルで収入ゼロ 赤字です。

出演予定だった舞台の延期

3月の公演が中止になりました。

公演中止によるチケット払戻：購入者への連絡と対応、プレイガイドとの調整、接遇スタッフの勤務補償など

見通したたない

公演中止や延期、それによるギャランティーの減少

公演中止による仕事の減少・中止。出勤停止。収束するまで続く

軒並みキャンセルになっている

8月までの公演は全てキャンセル。来年のスケジュール調整はできない。

舞台が延期になりました

自主公演・講座等の延期

予定していた公演全てがキャンセルになり、そこに掛かった事前経費が回収できなくて自己破産するしかない状態です。

売上がほぼ0.支払いができない

イベント、模様し、コンサート、その他舞台関連に従事されている方、自分も含めほぼ収入断たれている状況で先の見通しが一切付かない状態。

ホール利用がなくなった

2月以降、予定していたイベントや公演が全て中止や延期になり、新たに入るはずであった仕事も延期になっている。

2月27日から今まで行う予定だった全ての公演が中止、延期になり再開の見通しがつかない。正社員だが、6月までこの状況が続くようだと会社もどうなるか分からず収入がどのくらい減少するか不安がある。

3月中旬の公演中止、4月下旬の映画上映会の延期・再調整、10-11月の招聘公演の実施有無の判断

2月下旬以降～6月の仕事はほぼキャンセル。以降も9月にかけてキャンセルが始まっている。

まだ未定。

4月から、今のところ10月までの仕事はほぼキャンセル。

依頼がキャンセルになった

ほぼ全部キャンセルです。

公演の中止、夏の公演ができるかどうか

公演の延期、中止。行政からの要請による劇場の臨時休館

これまでの影響は、3月時点で6割程度の催事の中止、延期。4月は100%の中止となっています。5月以降7月までの中止がすでに決定し始めていることと、株主総会への技術提供などでも影響がでています。また、4月～7月くらいまでは、企業の業務において秋口以降のイベントなどの計画時期であることから、計画立案にも影響が出始めています。

公演が一切行われず、仕事の機会が無い

劇場の制作業務は劇場との業務委託契約のため、今のところ影響なし。

ただ、売上の大半を占めるはずの折込代行業務が4月売上が0であり、今後も公演できる時期の目処がわからないため数カ月0の状態が続く可能性がある。

3月の舞台監督現場の演劇祭の中止（公共劇場主催事業、劇場閉鎖）子供向けミュージカル現場中止（学校自粛による主催者判断）4月民間劇場の管理業務の中止8件（イベント自粛による主催者のキャンセル）劇団公演の中止3件（イベント自粛要請）による美術工場の作業中止および設営撤去の中止。演劇課目のある大学の授業延期（緊急事態宣言）5月管理業務の中止4件（イベントキャンセル）6月演劇公演の中止2件（再開目処立たぬ為主催者判断）7月演劇公演の中止2件（上記に同じ）8月演劇公演2件（上記に同じ）9月演劇公演中止2件（上記に同じ）10月野外演劇公演の中止（祇園祭など屋外イベントの中止を受け主催者判断）

10月までの仮契約の演劇公演の現場が9件、4月5月の管理現場が12件、大道具現場が6件中止などすでに決まっていただけでも総額150万はキャンセルが出ている。

今のところ二カ月仕事キャンセルで無し。今後も5月は丸々キャンセル、その先も不明。

業務自体が無くなり、収入が無くなりました

イベント、公演の企画が立てられない

イベント、展示会、全て中止。

6月以降も中止や延期が出ている。

制作していた公演の中止、その後の見通しが立たない

フリーランスとしての劇作、演出、出演舞台の延期、指導する教室の延期。劇場管理業務での主催事業の中止、延期、貸館公演の中止、延期。

2月24日以降、5月いっぱいまでの演劇公演はすべてキャンセルとなりました。

公演中止や延期による収入減

演劇関連の取材執筆の仕事が一切なくなりました

公演において、半数キャンセル

全ての仕事がキャンセルになり収入がゼロになった。

3月後半から5月までの仕事が全てキャンセル、延期時期未定

出演辞退、関係していた舞台の延期

2月下旬ごろから舞台現場がなくなり、この先も見通しは立っていない。

動員の減少

公演の中止、延期

公演中止による無報酬

請けた現場が3月に7割減、4月以降全減。3月まで分の入金が4月末で完了し5月より無収入。

収入がゼロになった。

3月ー80%減、4月~5月末迄ー100%減、7月ー2日間キャンセルが決定

技術者が転職し人手不足になることが懸念される。

イベントおよび舞台公演がなくなり、映像家としての案件数が大幅に減少した。

3月イベント自粛時期での公演で定員を減らし感染症対策。スタッフとして従事していたフェスティバルや公演の延期（5～7月実施予定）。勤務していた劇場の休館により在宅業務。

2020年内に予定していた、所属団体主催興行が5演目延期/中止。うち1演目は開催直前での中止となったため払戻対応アリ。残り3/4も既に諸準備が進行していたためキャンセル料発生案件。

公演の延期、会場の閉鎖

公演の中止、延期

秋までの出演が全て無くなり、衣装提供の仕事が3公演分なくなった。

7月までの物件は全部キャンセル

所属団体の公演中止による金銭的損害

今後の仕事がなくなったことにより、ギャランティがなくなったこと

仕事が損失しました

演技教室の開催が延期した

舞台、一般共にスケジュールが白紙になりました。特に卒業式入学式関係が直撃です。

舞台は延期、夏までに企画されているものも実現が不可能ではと。

公演の中止が2公演、8月の公演も危ぶまれています。

公演中止、延期

ホールの利用受け入れ停止・閉館が続いている

決まっていたすべのコンサートがキャンセル。秋口に予定されていたコンサートも今年はキャンセルになり、年内の仕事依頼が来るはずの時期ですが、全く先が見えません。

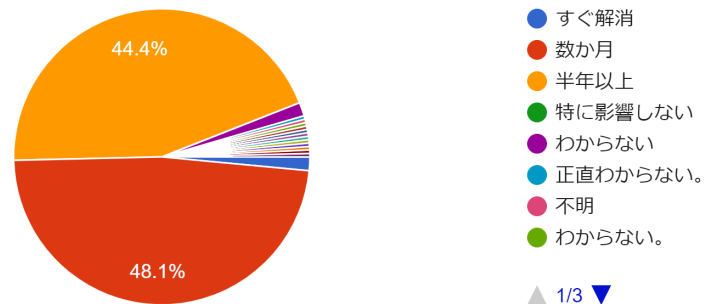
年内白紙状態です

三密が許されない中舞台公演が行えず、この仕事一本で生計を立てていたのが4月から実質の無職となり、今後の生計についてとても悩ましく思っている。

その他（92 個）

非常事態宣言が解消し、収束した後の影響期間

268 件の回答



▲ 1/3 ▼

◎長期的な影響について具体的にご記入ください。

今後どうなるか分からない。

支払いが翌月末～翌々月末なので、生活費か経費の支払いが困難

三月以降の収入は全く無し。

生活費

第2波の心配がある

ホテル併設の施設のため、陽性判定者を受け入れた場合の施設閉鎖期間が読めない

無くなったイベント業務の振替は、早くて秋、遅くて来年度中となっているが、スケジュールの関係で受けれないものも多々あり。

また早くても次の仕事は8月、おそらくもっと先になるだろうと予想している。

劇場が再開できるか？どうしても人が密集する環境。

学校や医療系が多く、計画に数ヶ月掛かるため、すぐには催事、学会が開催される事は有り得ない

総合的な体力不足による人材流出や、施設備品の縮小による受注可能な量の変化

何より業界のイメージダウン

収束後、開催イベントが過剰に集中して、機材と人材が不足する。

会場も取り合いになり、時間が制限される中で、現場では今まで以上に、休憩が取れない過密タイムスケジュールになる。

練習ができないことによる催しの延期、

チケットが発売できないことによる催しの中止、あるいは予算の大幅な縮小

文化芸術が失われる懸念がありますが、技術者への休業補償が担保されていれば解消する話だと考えています。

劇場の閉館期間が延びた場合、年末・年明け以降に本番予定の催事も、練習場所が確保できず開催できなくなる

無収入につきアルバイトを探さなければ生活費が足りない

すぐに感染者がゼロになる訳では無く、何度かピークが来る事が予想される。

収入が1円も無い

7月の仕事も6月とかに稽古出来なければ無くなる可能性があるのではないかと

人が集まれる状況になやないと仕事は全く無い

長期の単位の仕事ばかりなので、1本中止になると、先までまとまったギャラが入ってこない。

感染がある程度終息しないと、リスクが高いので主催者が出来る状態にならない。お客さんも来ない。

劇場・稽古場の使用が許可されない限り公演は出来ない。すなわち仕事が無い。収入が無い。

廃業も視野に

すでに年度内の公演中止や中長期的な業務縮小がでている。

収束してからしか 次の仕事が決まらない。

そこからトレーニングがスタートし 本番を迎えられるのは 更に先。

稽古など準備期間が必要となる為、すぐに収入に結びつかない。

業務再開までのスパン、再稼働にあたっての諸々確認事項など

東京次第

劇場公演がなければ会社の収入がほぼなくなる。今は有給で賄えているが、業務がなく出社して次の仕込みをすることもできない。

延期などで公演が重なった時の対応が不安

依頼元が廃業、疲弊していく事が予測され、新規顧客もつかみにくいと思うため。

収入減

3.4月は無収入

少なくとも新しい作品を創り、営業活動して、劇場を押さえて、スポンサーを探すことを考えれば一年は掛かります。

興行が安全に行われる認識が社会に定着するまでは、劇場の利用は見込めず、収入が得られるまで、経営が維持できるか。

ウイルス対策がホールでは難しいので、開館ができないのでは。

現時点での収入が減っている事に踏まえ、延期された公演や仕事も確実に開催されるか不透明な為、収入にも影響が出る可能性がある。

非常事態宣言が解消してもすぐに公演は再開出来ないと思う。

もし再開しても始めのうちは人と距離をとりながらの作業になると思う。

仕込み、本番、バラシをその状態でするのはとても難しいし、以前より公演の数が減ると思うしお客さんも減ると思う。

もう以前のようにには戻らないと思う。

行政の介入がありつつ、現場任せの判断基準の曖昧さが残るとおもいます

公演の企画自体が収束後から始まることを考えると最低3か月後以降からのブッキングになると予想。

先行きわからず。

劇団の活動が萎縮から回復出来ない

舞台作品の製作は、非常事態宣言が解消してもすぐに始まるわけではない。

開催元の準備期間とさらに実際に始動する期間が必要だから。

観客を客席にいれることへの不安

延期公演のキャンセル分の減収、今後の公演の入場券の買い控え、イベントの見合わせ

ワクチンが出来るまでは難しいと思います。

そもそも、コロナ収束宣言は数年後になるかと思われます。ここ1, 2か月のことだけでなく、長きに及ぶコロナ対策とそんな情勢の中での、イベント業務がこれまでと違う対応を求められると思います。中止や延期は当然のこととして、未知数な影響が起こると想像します。

収束後、すぐに公演が実施できるわけではない。また、客席数を減らしての上演となる可能性も高いため、公演が実施されるようになって折込代行業務の売上は過去の平均と比べて大きく下がる可能性がある。

中止延期になったカンパニーの持久力がなくなっていく事。再開されたとしても作品作りに時間が必要であること。さいかいじきが決まってからの劇場予約になる為再開時期がわからない事。関係者が廃業転職離職をしている可能性。私自身も含めて。

準備期間（演劇の稽古等）を考えると解消から二〜三カ月はかかると思う。

クライアントの消失

作品が変わると思います

単発のイベントも多く、延期ではなく中止も多い為、受注が少なると思う。

集客の不安

延期になった舞台の予定をゼロから立て直さないといけない

観客数の減少。公演中止でダメージを負った主催団体が回復するまで時間がかかる。リスクの大きさから演劇公演・企画を躊躇する団体が増える。

主催者が公演を渋る以上は公演数が激減する。

9月に打つ公演も企画以上具体的に何も進んでいない。

演劇公演数が減るかもしれないのが心配

4〜7月までの業務が年明けなどに延期し、その売り上げが立たない、またその時期に受けられる見込みの合った業務をスケジュール被りで受注できない可能性があり、結果売上げ減につながる可能性がある。

すぐに現場が動き始める事は出来ない。

今後予想されていた舞台は全て企画倒れした

経済不活性化による集客見込み減少

案件が入ってこず、まったく収入の目処が立たない

公演の中止、規模縮小

お客さんが劇場に戻って来ない

不明。

舞台監督の仕事 ー2月のキャンセルは2日前に入ったのでキャンセル料が発生(30%)しましたが、それ以降のキャンセルは、1週間以上前に決定されたので、キャンセル料は発生しない為、収入はゼロになりました。

学校関係の催しを複数受けており、プロの主催者よりも、自粛が厳しい事が一つと、

他の取り引き先は、チケット収入のみで開催しているアーティストが多いので、延期を視野に入れてホールキャンセル料を払った時点で、赤字を抱えてしまっていて、次回の公演の為の会館を予約するのに躊躇されている為、こちらの目処も立たない状況です。

そして音響技師としてレギュラーで増員で入っているホールは公立なので、再開に慎重になるのではと考えております。

団体財政の困窮。収束後すぐに動き出したとしても、公演を打てるようになるまではタイムラグが発生する。

緊急事態宣言により中止になった無利益の公演のキャンセル料金を払わなければならない。

活動再開の目処がたたないこと

再開に当たり一から広報に取り組みねばならず、資金が更にかかること

予定してた公演が打てなかった場合、収入の激減

仕事柄、元に戻るのには最終ではないかと。

集客の難しさや、自粛の消耗が激しい中での経済面

公演を開催するにあたっての準備

収入

世の中が落ち着いたとしても、直ぐには元の生活、公演依頼も来ないと思っています。本当に不安でしかないです。

廃業も検討してます

劇場、稽古場施設が開かないと仕事が始まらない。

非常事態宣言が解消されても、コロナウィルスの収束がない限り舞台公演はなされず、その為現場がないということになる。

また、コロナ収束としても、お客様の足取りは重いと思う為、集客に難しさが残ると感じる。

現場キャンセル縮小に伴う収入減

現在、役2ヶ月間の自粛要請の影響で収入は無しに等しい激減。家計の回復の見込みは無い。

劇場への集客がより困難になるだろう。

おそらく業界が復帰しないことにより仕事が少ない

今後の再開の見通しが立たず

ワクチン開発や確実に終息と思える事態にならない限り、お客さんはなかなか劇場に行きづら
いと思います。

舞台・映像とも、再開しても収入が手元に届くのに数ヶ月要するため、すぐには元の生活には戻
らないと予想される

コロナの自粛要請で、公演中止、今後もどんな事になるのか想像つかないので1年以上は企画を
進められない。

快感利用は大体一年前から抑えられているので、動かなかった分を取り戻すことも不可能なの
で、収入が滞ります。

海外製品の入手難

ある程度終息の目処がたてば、新規の予約が殺到するのではないかと思う。もしそうなれば、
時間外勤務と増員の不足が起きるのではないか。

クラス指導に関しては再開すれば回復が見込めますが、舞台については秋以降の企画も全て白
紙状態になっています。民族音楽舞踊関係は制作期間が短めなので年内でも多少の回復がある
と思いますが、オリンピックの影響も受けたし、舞台空間でのパフォーマンスについては今後
一体いつ再開できるのか全く分からないので会場予約に至らず、一年以上の影響があります。

いつになったら公演が再開されるのか、再開されなければ仕事はないので、期間を決めてほし
い

無収入

完全な収束が読めない

クライアントとなる企業、団体の経済的体力が回復しないと仕事の生まれない業種のため、本
数の回復には相当の期間を要すると予測されます。

イベントや舞台の準備期間を考えると、すぐ明日から再開出来るものではないと考えていま
す。

仮に、収束に向かった時急に来月から解禁ですとなったとしても、いきなりツアーが始まるわ
けでもないと思うので、元の仕事量に戻るまで数ヶ月から1年はかかるでしょうし、その時には
フリーの従事者や会社が廃業し、人手がいないかもしれない。客も見に行ける経済的余裕がな
いかもしれない。

非常事態宣言が解消されてもイベント、舞台中止が解消されるわけではありません。

だとしても、半年以上の影響が続く予測しています。

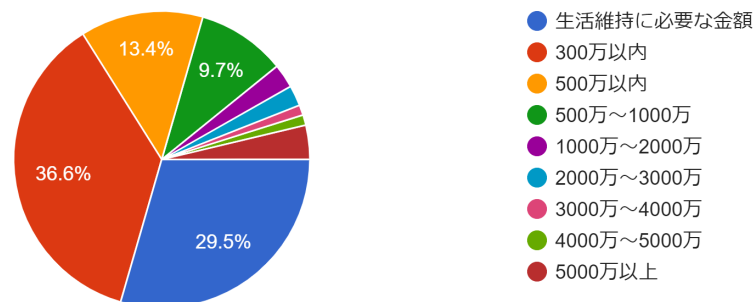
仕事の減少による減収。

自粛前の時のような公演への様々な感染予防の規制及び予防対策が行われるのでしょうかそのための人員・設備等の予算の増加。

その他（60 個）

現時点で予想される減収影響額について

268 件の回答



資金的な何らかの対策をとられましたか？

268 件の回答



▲ 1/3 ▼

◎その他の対策

①アルバイト求職中

②まだ、様子見。5月の連休明けの状態を見極めたい。

③雇用調整助成金

④日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症特別貸付に申請したが、まだ結果は出ていない。

⑤コロナウイルスの影響を受けつつも実施可能な業務はないか検討中

⑥創業直後かつ法人としては4月から業務受託開始のため、コロナウイルス関連の制度融資や公的補助金を受けることができないだろうという見込。そのため、創業融資としての制度融資を検討中。また、ウイルスの影響がまだ出ていない別業種での業務をおこなうことも検討中。

⑥社会福祉協議会の緊急融資

⑦他業者でのアルバイトを開始した

⑧預貯金と親族に借りる。制度も調べているがコロコロ変わりついていけない。給付でなく貸付なら身内に借金した方がマシ。今後の状況により廃業も致し方なしと考えている。

⑨他業種の仕事を増やす

⑩東京都生活文化局から映像コンテンツ制作への支援” 10万円の申請予定。

⑪会社としては政府の支援制度の申請をしている

⑫持続化給付金の詳細を待っている

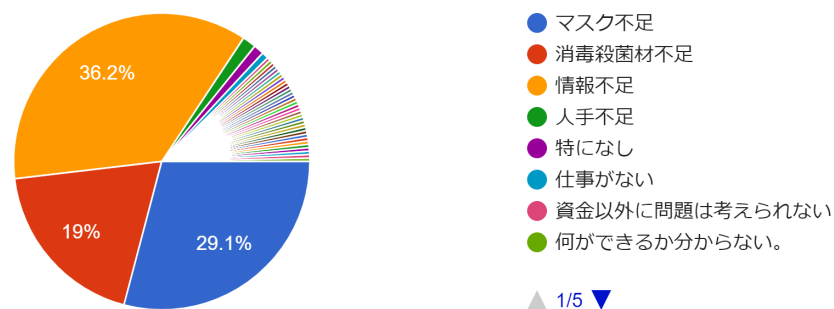
⑬住居補助をとりあえず申請しようよ思っている

⑭政府の制度が決定するまでもたない。現状での金策を選択した。

⑮どうしたらいいのか不明。

現在お困りの事（事業継続、資金関連以外）

268 件の回答



◎その他お困りの事

①行政の担当窓口に問い合わせを決まっていない内容ばかり。

②鍛錬する場所が無い。

③状況が変化していくので、今はじっとしているしかないように思う

④良いときだけ利用して、風向きが変わったら切り捨てる、こんな国に芸術、文化を語る資格は無い

⑤現状を変える、発信するネットワークがない。

⑥特になし

⑦いつどのようになれば、再開できるのかわからない

⑧一時期は、ライブハウスでの感染拡大もあり注目され、情報も流れていましたが、ここ最近
は業界全体が何を考え、どうしようとしているのかすら分かりません

⑨子どもの休校で新たに仕事が行けずに行けない。

⑩オンラインで対応するようにしても、レッスンを休む生徒さんが出てきました。休まれてしま
うと直接収入に響き家賃の支払いに不安です。

⑪業界・文化の継続、他国との連携

⑫公共施設も全て閉まっているため、稽古場の確保ができない。舞踊家は身体が資本なので稽
古ができないと必然的に何もできなくなってしまう。取り戻すのにかなりの時間がかかる。

無職期間にどの様にモチベーションを保ちスキルアップするか

緊急事態宣言後の中止部分、その前の主催者の自主的自粛部分に関してさえ何の連絡も無いの
でどう対処して良いかわかりません。

⑬困窮による精神的ダメージ

⑭仕事がない

⑮今後への不安

⑯従業員に与える業務がない

⑰先が見えない、わからない。

⑱三密でなければ無観客イベント配信が出来ると東京都から答えをもらったが、会場と演者が
踏み切れない状況。

⑲生活資金不足

⑳政府のコロナ対策の甘さ、雑さ

㉑資金不足

㉒この時期に力を蓄えたい経営陣と具体策が無く時間を有意義に使えないことで劣等感を感
じてしまう社員の温度差が埋まらない。

その他多数

◎影響や今後の課題、他業界団体である当連盟に望むことなど、ご自由きご記入く
ださい。

①早くコロナ騒ぎが収束して欲しいと、思っています。

②フリーランスの身分保証の受け皿のようなものを連盟、協会で担えないか。

③細かく情報発信をしてほしい。

④フリーランスのほとんどは生活出来なくなるでしょう。

⑤コロナの感染者が0になるのはかなり困難だと思います。

その中でも劇場が再開できる方法（席を間引く、換気、消毒等）を何とか模索して欲しい。

⑥ こういう事態だからこそ、横の繋がりの強化が出来ないか？

⑦ 今はとにかく生き残る事を考えている

⑧ 社員をカットすると助成金は受けられず、今後長期化すれば事務所や工場の閉鎖、社用車売却などで凌ぐしかない国や県はよくやってくれていると思う

⑨ 医療関係者やインフラ従事者、その他必要な業務に明け暮れる方達に感謝しつつ、じっと待ちたい。

⑩ 経済的支援策よりも、風評被害を払拭していただきたい。

⑪ ライブハウスやイベント等が悪であるかのような印象を持たれており、今後主催しづらくなることがないように。

⑫ 技術スタッフ個人の生活を守ることや、

⑬ 企業存続の根本はすべて資金繰りに尽きると思います。

⑭ こちらの連盟でも、何か有効な対策を立てていただければ幸いです。

⑮ 申請がしやすい状況を作って欲しい。基本的に全員がネット環境の中にいるという前提で物事を進めていかないで欲しい。私は実際にパソコンを所持していません。ネット環境はスマホしか持ち合わせていません。

⑯ 今回の騒動で廃業、転職者が増える事は間違いなく、収束の折に深刻な人手不足になると思われる。ユニオンの結束が必要ではないか。

⑰ 仕事がキャンセルされた分、100%とは言わないから出しますなりとも保証してほしい。とりあえず、生活のお金がないことが困ってます。

⑱ イベント復活まで各業界の存続維持の公的サポート

⑲ 横のつながりがもっと必要なのではないか。さまざまな団体同士の。

⑳ コロナでの影響で失った収入の人件費7割負担して欲しい。

㉑ どの業種よりもいち早く一方的な自粛要請がされたエンターテインメント業界にまだ政府より具体的な支援策がないことに声をあげるべき。政府は自粛により事業者がどれだけの損害を受けるのか仕組みも理解せずに自粛要請をしている。

㉒ 演者の保証が欲しい。

㉓ 舞台の稽古期間中は、無収入になり、かなり生活が苦しくなるので、交通費も含め、暮らせるくらいの稽古代が欲しい。

㉔ 演劇がどのような産業であり、どのように成り立っているか、周知が必要。

㉕ 安全の確保、指針を示して欲しい

㉖ 連盟においても保証の申請などの情報提示、アドバイスなどを出してほしい。

㉗ 製作が違えど同じ事務所のタレントの演目ならば、公演時期をずらして欲しい

㉘ 各業界団体等に対しては劇場、ライブハウス等の表現の場所の維持、表現者の健康を守る事、事態が収束してきたらまた動き出せるように、必要な支援を受けられるように、声明等の発信や政治的な働きかけをし続けて欲しいです。

②⑨いままさ何も無い

③⑩連携、連帯の機会創出

③⑪政府に業界として補助金をお願いして欲しい

③⑫いま一番影響を受けているのは、生活基盤の確立していない若手のフリーランスです。彼／彼女らがいないと、仮に舞台環境が戻ったとしても日本の現場は回らなくなるのでは？何か、若手フリーの人たちへの救済策がとれないでしょうか。

③⑬横のつながり。映画界はミニシアターの存続でクラウドファンディングで成功をした。演劇界に横のつながりが薄い

③⑭自分の生活も大変ですが、業界として医療従事者や医療資材不足に貢献するとかできないでしょうか？皆大変な状況下で、芸術文化の火を消すなはピント来ません。ならば、芸術文化だからこそ出来る支援活動をしたうえで、自分たちの窮状を訴えるべきではないでしょうか。舞台芸術は必要不可欠！当然のことですが、大変さを訴えているだけでは、誰も協力してくれないと思います。衣装家がマスクを作る。小道具さんがフェースガードを作る。音響さんがヴォイス応援メッセージを作る。照明さんがブルーライトで医療関係者を応援する。美術家、大道具さんが、家で過ごす人たちに、簡単DIYを配信する。皆で社会に向けてやれる事を考える。そこに基金などを集めてはいかがでしょうか。連盟の今後の動きに大きな期待を寄せます。

③⑮劇場に向かう過程、作品の制作において濃厚接触は免れないと考えます。

生活に困ることは大いにありますが、まずは自分や周りの人の命の方が大事なので、辛くても自宅待機を望みます。

③⑯政府は充分に補償をするべきだと思います。

③⑰劇場・ホール・ライブハウス関連の業務は、その特性上、初期から影響を受け、収束後も感染症発生前の状況に戻るまで他の業種よりも時間がかかる。今までの損失は自粛によって中止になった損失の補償だが、これからは、決まっていない公演にかかる損失のため、実態が見えにくく、調査しづらいものになると思う。そのため、フェーズにあわせた調査・提言を期待します！

③⑱十二分にやっておられる印象を持ちました。もし元の形で舞台芸術が再興された時には入会を検討したい。

③⑲情報の収集・選別・共有をお願いします

③⑳人が集まる条件が明確になればと思います。例えば屋外で人との距離を2m空けたら公演可とか。

④①早く終息してほしい。

④②今まで通りに戻るのは、いつになるのか。それまで、この状況なのは厳しい。

④③終息したからといって、これまで通りに戻るとも限らない為、対策を考えてほしい。

④④対策をとった上での公演ができるために、対策のガイドラインをつくり、なんらかのオーソライズをとってほしい。

④アーティスト、制作者（団体）への経済的支援のほか、社会における芸術の意義について、明確なメッセージを送ってほしい

⑤長期戦になると思っている。演劇はただ自粛して我慢し続けるのではなく、席を離して売る、飲食させない、幕間を作らず一幕ものにするなど対策案を考えて上演再開を目指すべき。あと稽古中の給与体制、公演保険などを見直す。

⑥劇場文化が様々な人の力でできあがっていることを、この機に多くに知っていただけたら。舞台関連業は、物品販売や飲食と違い、緊急事態宣言が解禁されたからと言ってすぐに売り上げが立つわけではなく、解禁から最低でも3か月、概ね半年から1年にわたり影響が出続ける場合が圧倒的に多いと想像されるので、短期ではなくそこまで含めた支援を望む。

⑦特に何も期待していません。

⑧施設運営者や企業だけでなく個人フリーランスである末端の人間まで行き届く補償を強く求めています。

⑨フリーの方達への補填が簡易的出来ないか？

⑩イベント・公演開催のための、具体的かつ現実的ガイドラインが必要だと思います。100%感染を防ぐことは不可能なので、主催団体や劇場に対し、公演を開催する際に必ず行わなければならない対策の項目を設定して義務付け、今後事態が落ち着き始めたときに様々な団体が精力的に活動再開をできるよう（いわばバッシング対策的な意味合いをもった）、感染対策義務を設定すべきだと思います。

◎以下47件の回答

資金援助の制度を整えてほしい。申請基準が曖昧であったり厳しすぎたり、ということを解決してほしいです。

やはり資金面がとても心配です。舞台中止によって、得られるはずだったギャランティが全てなくなり、その間お休みをもらっていたアルバイトの方も変則勤務になり、どう生活していけば良いのかわかりません。

今まで普通に出来ていた演劇もできなくなり、なにを目標に生活していけば良いのかわかりません。

国会議員、公務員、サラリーマンとは全然収入の体制が違うフリーランスの立場のことにも、目を向けて頂きたいです。もちろん、フリーランスよりさらに大変な方々がいらっしゃるのも承知の上ですが、どうも中途半端な立場におかれていると思いますので

復旧の見通し、収束の見通しがないと何とも言えない。

資金面が最重要です。お力添えお願い申し上げます。

情報の発信、情報をもったうえでのシンポジウムなど情報の交換

引き続き調査し、結果を有効利用してほしい

自粛要請するなら、補償の必要性がある。

フリー契約で動いているものにとって、この度の政府の給付金はどの様にしたら受けれるのか。受けれるのであれば、手順などを教えて頂きたい。

継続的な情報提供と情報交換

現在、映画館に一足が遠のいているように、劇場空間も閉鎖的で空気の流れが悪そうというイメージがぬぐいきれません。入口でどんなに手洗いや消毒液、マスクの提供などを行なったとしてもかなり難しいことが予想されます。ですから、業界として、舞台での上演を安心して来客がある様に、方向性を示して言っていただければと思います。

この業界のフリーランスへの支援

エンターテインメント業界に従事する職種の中で各ジャンルごとに署名や資金を集めるより、一括して集めたり配分したりする仕組みが必要かと思われます。署名もクラウドファンディングなども乱立すると散ってしまい結果満足に効果を上げることができなくなることが予想されるからです。特にクラウドファンディングは投資する方もこの状況で等しく辛い時期なわけで、あれもこれもと投資できるわけではないので。

各所をまとめる力のある団体同士が横につながり、一つのプロジェクトとして動くことが必要かと思います。

このような情報収集を迅速に行い国会議員にしつこいくらい陳情すべきです。お肉券魚券を配ろうとする発想はそのような業界団体から早い段階で陳情されている事が影響されているので、芸術やエンタメ業界の団体はもっと行動すべきです。

諸海外では、業界の回復が来年以降の予測が出ています。中止要請は、今は必要でしょうが、“武漢コロナウィルス感染症”という病気と共に生きる、共にお仕事する(舞台やイベント業務でも)方法を考える必要があります。

大変難しいことだとは思いますが、なんとか、裾野広くまで情報を発信していただけるとありがたく存じます

アルバイトなどで生活を維持出来る保証が欲しい。が終息まで本当は出ない方が良くから補助金で暮らして3密から避けたい。

せめて大手制作会社はなんらかの答えを出してほしいです。

法人に至っては、会社存続の危機です。経済危機を100%に受けやすいのがこの業界です。

この道のプロの会社、職人達が居なくなってしまう。

居なくなってからでは、元通り同じ様にするには多大なる時間とお金、労力が必要となります。

会社を廃業してしまってからでは遅いのです、

職人達が生活の為に他の仕事をして、みんながみんなこの仕事に戻ってこられる訳ではありません。

これから育っていくであろう若手の人達も同じです。

若手は選択肢が他にあれば、

さらに職人へのなり手が減ってしまいます。

こればかりは、食い止めようが難しいところです。

みんながみんな補償を思うように受けれる訳ではない中で、
どのように対応していくべきなのか、

国の宣言のもと従った結果ならば、国が責任を持って、国民の声に耳を傾けてほしいです。

長く続くようならば転職も考える。

前年度や前月などでは判断できない収入への理解を行政に説明

現状仕事がほぼ壊滅的なのでまずは生活を維持できるのかが不安です。

昨年末に独立したばかりなので、政府の支援も対象になるかが微妙なところです。

コロナが終息したらライブ関連だけではなく(チケットがあるもの)、その他イベントや自治体
お祭りなどももっと盛り上げる様にサポートしてほしい。

広範な情報提供をお願いします。

終息が見えないことによる今後の不安を何とかしてほしい。

経済的な援助

対策を早くした方がいい。

収束から実収入までも3 ～6 カ月かかるので非常に不安

政府が我々の仕事について、まったく理解出来ていないと感じる。その上で対策を進められる
ようにお願いしたい。

緊急事態宣言後、公演等の復帰のためのガイドライン作成。

自粛ムードの解消に向けた世論醸成

劇場を含めた主催者に採算面の補填をしながら、客席数を減らしてでも公演を再開する事によ
り、関連業者が生き延びる事が出来るのではと思っております。補填を考える業界に促しをお
願い致します。

収束を願うのみ

コロナが収束して早く普通に仕事をして家族を守りたい。

フリーランスを守ってくれる体制が必要だと思います。フリーランスはプロであり、フリータ
ーではない事を、国や行政にしっかり理解して欲しいです。

希望的観測ではなく、現実的な公演開催可能のタイミング（可能な限りの予測でもよい）を発
表して欲しい。

また、どこが現場が最初に開催するかの睨み合い状態だが、団体が中止となって開催可能かの
判断をまとめて欲しい。解禁は一斉にスタートしたい。

フリーランスの生活保障

せめてもの最低の生活が出来るくらいの給付金は頂きたいです。

- ・スケジュールの過密化阻止、24時間の会場の貸し出しを無くす。(深夜作業の撲滅)

＊会場側のコントロールも必要。そうしないと、スケジュール過密により事故が起こる可能性が大かと

・舞台業界全体のstaffの管理組織を作る。舞台に関するルールづくりを徹底するために。

演劇業界がこういうときにも人々の生活に潤いを与えることが出来ることを示すためにも無料で舞台の動画を公開して欲しいです。

とにかく保証に尽きます。

もう少しまともな質問なりしてくれませんか？答えようがない設問ですね。こんなアンケートなら必要ないんじゃないでしょうか？

この業界が全く仕事が無く、売り上げがまったく無いのが余り認知されていない。政府の支援がイベント業界に向いていない様に思われるので政府に訴えて頂きたいです。

大きい現場が動き出して、そこそこ軌道に乗らないと、末端の自分達の所まで動かない。

自粛期間が長く、ダメージが大きい。

収束後、各会社間でのダンピング行為とか懸念されます。

後はこの業界の中で私みたいなフリーや個人事業者の協会などの立ち上げも望ましいです。

制度融資は金利補償期間が短く、影響の長期化が考慮されていない。

今までを取り戻すつもりで活動をせず、新しい時代に取り遅れない体制作りをお願いします。

連盟独自の補償。有事の際に役に立たないのではただの利権団体

所属会社の売上は、50%減どころではない。仕事量は90%以上減です。

何も期待してないですよ。だって、何も出来ないでしょ？

フリーでやってるので、主催者、イベンターとの間で保証について話づらい面がある。今回のような外的要因での中止でも保証の話がしやすい風潮が生まれると正直助かる。

劇場・ホール・舞台関係者のための新たな仕事の創出。

